令和７年度　全国学力・学習状況調査　小学校６年生算数　大問３（２）

大問３（２）の趣旨

分数の加法について、共通する単位分数を見いだし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。

授業プラン：第５学年　A（４）分数の意味と表し方

通分や約分を含め、分数の計算の学習が数の操作による形式的な学習に偏らないようにしましょう。授業プランでは、分数の意味や表し方を理解できるように、以下の２点に留意して構想しています。単元を通して、大切にしましょう。

・分数の大きさを視覚的に捉える

分数を図で表す活動を取り入れます。数直線、ピザやケーキを切り分けるなど、既習事項や日常生活と結びつけやすい図等を扱い、視覚的に分数の大きさをとらえることができるようにします。１の大きさに着目し、例えば 1/2 と 2/4 が同じ大きさであることや、1/3 が 1/2 よりも小さいことを理解できるようします。

・単位分数に着目する

「単位分数のいくつ分」という視点を取り上げます。例えば、3/4 は、1/4 が３つ分集まったものととらえることができるようにします。この考え方を通して、分数の大きさを「1 を基準として、そのうちのどれだけか」という意味でとらえられるようにします。これにより、通分や約分を行う際にも、単に分母や分子の数字を操作するのではなく、「もとにする数」と「いくつ分」でとらえることを意識できるようにします。

授業プランにかかわる既習事項

・数の見方

整数

10 をもとにして、「20 は 10 が２こ」「30 は 10 が３こ」「140 は 10 が 14 こ」など

100 をもとにして、「200 は 100 が２こ」「300 は 100 が３こ」「1400 は 100 が 14 こ」など

小数

0.1 をもとにして「0.2 は 0.1 が２こ」「0.3 は 0.1 が３こ」「1.4 は 0.1 が 14 こ」など

0.01 をもとにして「0.02 は 0.01 が２こ」「0.03 は 0.01 が３こ」「1.4 が 0.01 が 140 こ」など

分数

$\frac{1}{6}$ をもとにして「 $\frac{3}{6}$ は $\frac{1}{6}$ の３つ分 」など

・計算の仕方

20＋30＝50

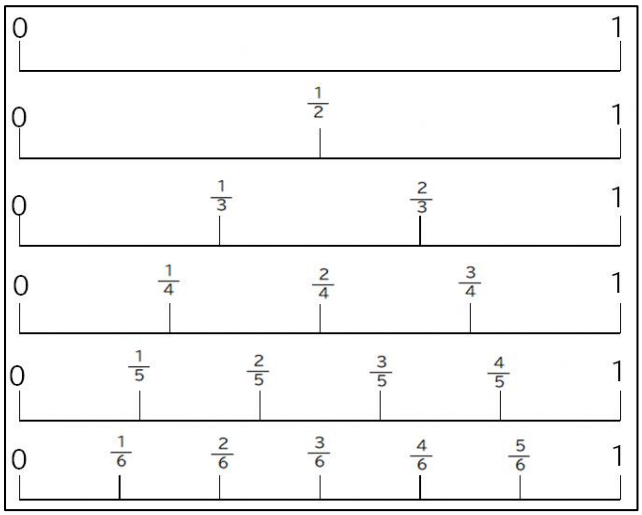
10 をもとにして「20 は 10 が２こ」「30 は 10 が３こ」、合わせて「10 が（２＋３）こ」

0.2＋0.3＝0.5

0.1 をもとにして「0.2 は 0.1 が２こ」「0.3 は 0.1 が３こ」合わせて「0.1 が（２＋３）こ」

・大きさの等しい分数

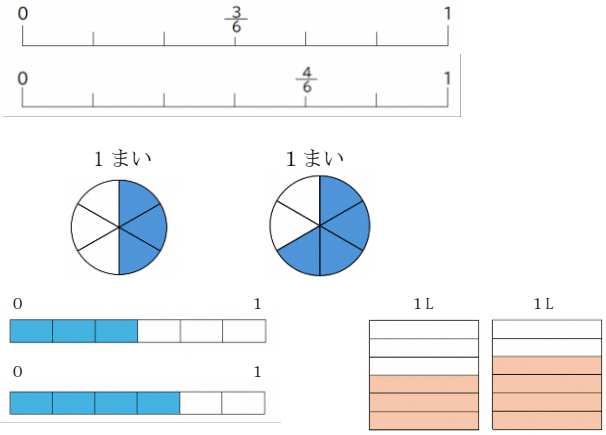
数直線上に表した複数の分数の位置に着目し、位置が等しいことから、大きさが等しく表し方の違う分数がある。

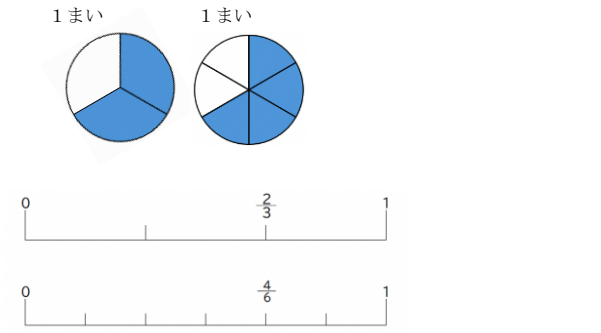


本時の目標

・分数の相等及び大小を知り、分母をそろえることで、分数の相等及び大小をくらべることができることを理解する。

東京書籍	10月中旬～下旬	新しい算数５下	２p
啓林館	９月下旬～10月上旬	わくわく算数５	114p
教育出版	９月中旬～10月上旬	小学算数５	117p

学習活動	支援（◇評価）
１．二つの同分母分数の大きさを比べる $\frac{3}{6}$　$\frac{4}{6}$  ・ $\frac{1}{6}$ をもとの数とみて、「$\frac{1}{6}$ が３こ」と「$\frac{1}{6}$ が４こ」では「$\frac{1}{6}$ が４こ」の方が大きいことがわかるね。	・数直線や円を等分した図など様々な図による表現を認めながら、それぞれの分数の大きさを確かめる。子どもの表現を共有しながら、分数で表される大きさを多様な視点からとらえられるようにする。 ・分母が同じであることに着目し、分子の数で分数の大きさを比べることができることを確認するとともに、「$\frac{3}{6}$ は $\frac{1}{6}$ の３つ分」という分数の意味を確かめ、単位分数（もとの数）の幾つ分をとらえることへの意識を高める。

２．二つの異分母分数の大きさ比べを試みるとともにめあてをつかむ。 $\frac{2}{3}$　　$\frac{4}{6}$ ・「$\frac{1}{3}$ が２こ」と「$\frac{1}{6}$ が４こ」はどうしたら比べられるかな	・分母が異なっていることに着目し、分母の異なる分数において「単位分数の幾つ分」では比較できないことを確かめる。 ・学習活動１を確かめ、分母の異なる分数を図を用いて比べることに見通しをもてるようにし、めあてにつなげる。
めあて：分母のちがう分数の大きさを図に表して比べよう。	
３．自力解決に取り組む。 ・円を等分した図　　・数直線 ・マスの図　　・テープ図  ・$\frac{2}{3}$ と $\frac{4}{6}$ は等しい大きさになるね。	・異分母分数を比べるときに、学習活動１で扱った図と関連づけ、自分の思考にあった表し方を選べるようにする。 ・分数の大きさをつかむことが難しい児童には、$\frac{4}{6}$ の大きさを図に表したヒントカードを提示することで、$\frac{2}{3}$ の大きさを考えられるようにする。
４．$\frac{2}{3}$ と $\frac{4}{6}$ が等しい分数になることを共有し、分母の異なる分数の比べ方について考える。 ・$\frac{2}{3}$ を $\frac{4}{6}$ とみると、どちらも「$\frac{1}{6}$ の４こ分」になるね。 ・$\frac{2}{3}$ を $\frac{4}{6}$ とみると、どちらも「$\frac{1}{3}$ の２こ分」になるね。 ・分母が同じなら、分子で比べることができる。 ・分母が同じとき、足し算や引き算ができた。 ・４年生のとき、大きさの等しい分数を作ったね。	・子どもの図を黒板に残すことで、異分母分数を比べられるようにする。 ・これまでの学習を振り返り、分母が同じなら単位分数のいくつ分（分子の数）で分数の大きさを比べやすくなることを確かめる。 ・４年生で学習した同分母分数の足し算や引き算と関連づけ、単位分数のいくつ分にできたことを確認する。 ・４年生で学習した同じ大きさの分数についての学習と関連付ける。

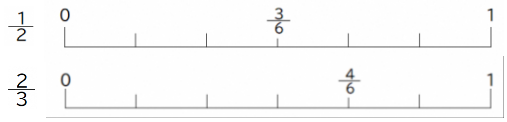
５．適用題に取り組む。

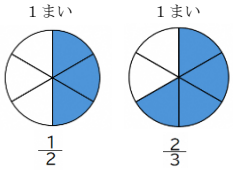
次の分数を、分母をそろえて比べましょう。

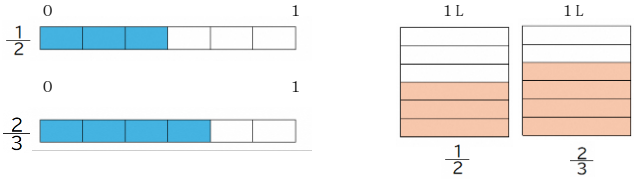
$\frac{1}{2}$　$\frac{2}{3}$

・４年生で学習した等しい大きさの分数から考えてみよう。

・分母を６にそろえるとはじめの問題と同じになるね。図に表すとどうなるかな。

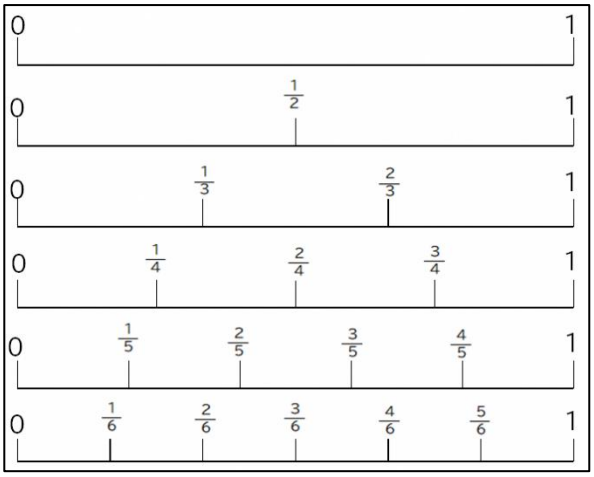






・「$\frac{1}{2}$＝$\frac{3}{6}$」「$\frac{2}{3}$　＝$\frac{4}{6}$　」と見れば、「$\frac{1}{6}$　が３こ」と「$\frac{1}{6}$　が４こ」で比べることができるね。

・４年生で学習した大きさの等しい分数を示す図を提示し、$\frac{1}{2}$ や$\frac{2}{3}$の大きさを$\frac{1}{6}$の数直線上で確かめ、$\frac{1}{6}$ のいくつ分で比べられることに気づくことができるようにする。



・数直線による図だけでなく、様々な図による表現を通して、分数の大きさを多様にとらえることができるようにする。

【知識・技能】
図を用いて、分母、分子の数が変わっても大きさの等しい分数があることを理解するとともに、分母の数をそろえることで分子の数でくらべることができる。【ワークシート等】

分母の異なる分数は分母をそろえ、もとにする分数（単位分数）のいくつ分に注目して大きさを比べることができる。

６．本時を振り返る

・図に表すと分数の大きさをとらえやすくなる。

・大きさの等しい分数を見つけ、分母をそろえる分子で比べることができる。

【評価問題活用場面】

・評価問題は単元末に活用し、学習状況を確認する。